

ICT ニュース 2024/12 月

2024/12/17 発行 ICT/感染管理委員会

今年も残り僅かになりましたが新しい年を迎える準備は進んでいますか？年末年始は人の移動が激しくなるため、感染症も移動します。さらに寒くなり窓を閉め切るようになるため、インフルエンザ、コロナなどの流行が懸念されます。いまだにマイコプラズマ肺炎も流行していますので、引き続き対策の継続と「健康日記」への入力および上司への報告も怠らないようにしましょう。



●風邪が 5 類感染症へ

2025 年 4 月からインフル・コロナ感染症と同等の「5 類感染症」に分類されることになりました。その経緯においては、WHO(世界保健機関)が急性呼吸器感染症の調査は次のパンデミック対策につながり得るので、世界各国での調査を呼びかけ、厚生労働省は「風邪」の発生状況を把握することで呼吸器感染症の早期検知対応を目指すとしています。

感染症分類	
1 類	エボラ出血熱、ペスト
2 類	ジフテリア、SARS
3 類	コレラ、細菌性赤痢
4 類	E 型肝炎、マラリア
5 類	インフルエンザ、新型コロナウイルス

風邪

●リンゴ病(伝染性紅斑)流行！

かぜのような症状が出たあとに頬などに赤い発疹が出る「伝染性紅斑」、いわゆるリンゴ病が関東を中心に増えています。妊婦が感染すると流産や、胎児に胎児貧血や胎児水腫といった異常が起きるおそれがあると言われています。

【原因となるウイルス】 ヒトパルボウイルス B19

【潜伏期間】 約 4~14 日

【症状】微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹(紅斑)が現れ、続いて体や手・足に網目状やレース状の発疹が広がりますが、これらの発疹は 1 週間程度で消失します。

成人では関節痛を伴う関節炎や頭痛等の症状が出ることもありますが、ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します

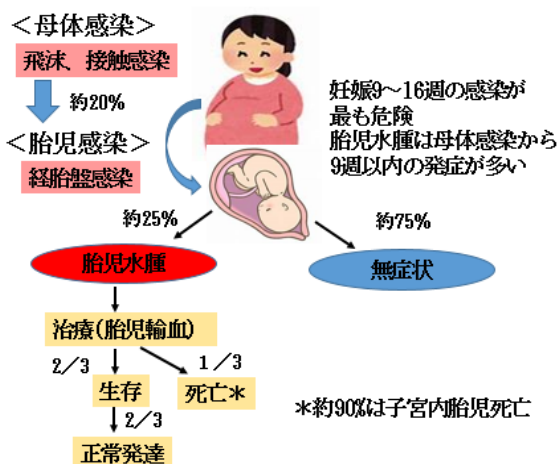
【感染経路】飛沫・接触

【対策】アルコール消毒の効果が乏しく、せっけんによる手洗いやマスクの着用などの感染対策のほか、妊娠中の方は感染が広がっている場所に出かけないようにしましょう。

【治療】

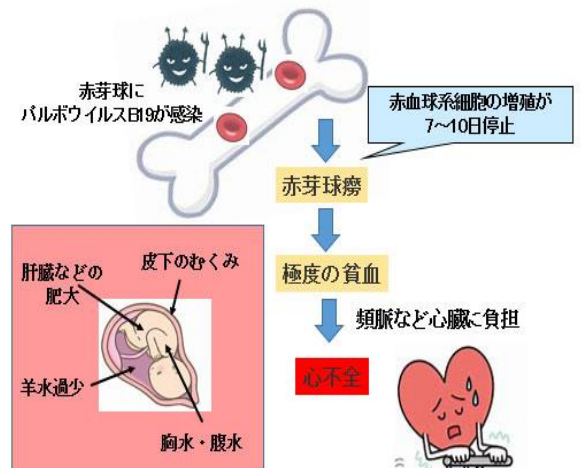
特別な治療法なし。基本的には軽い症状の病気のため、経過観察を含め、症状に応じた治療となります。

ヒトパルボウイルスB19 感染症

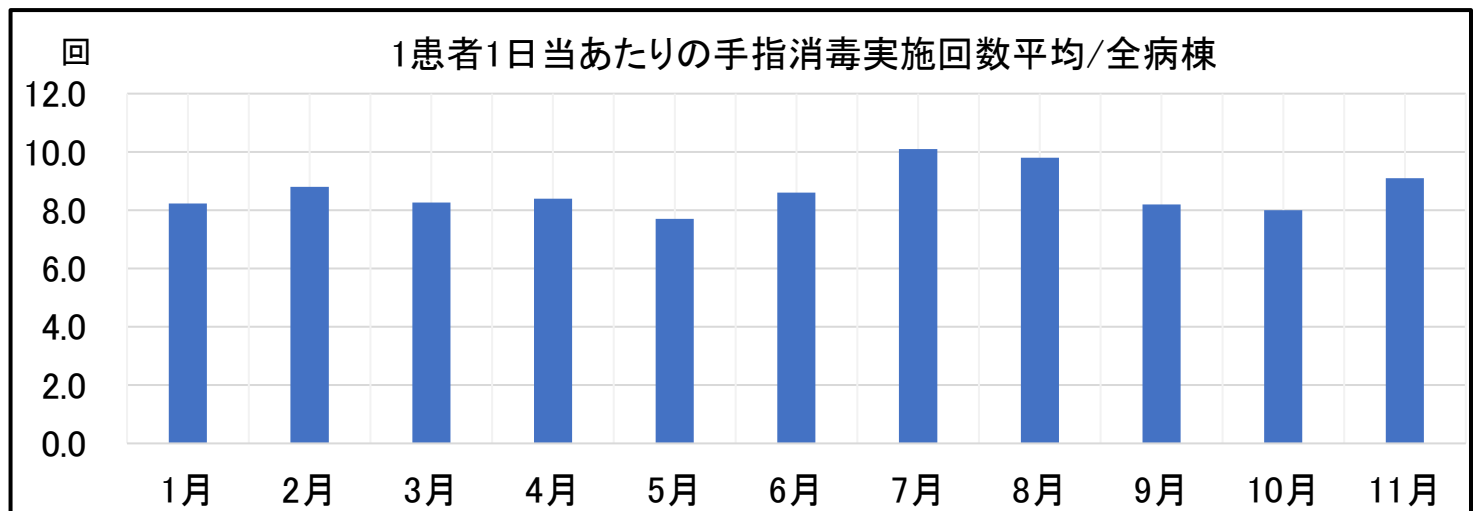
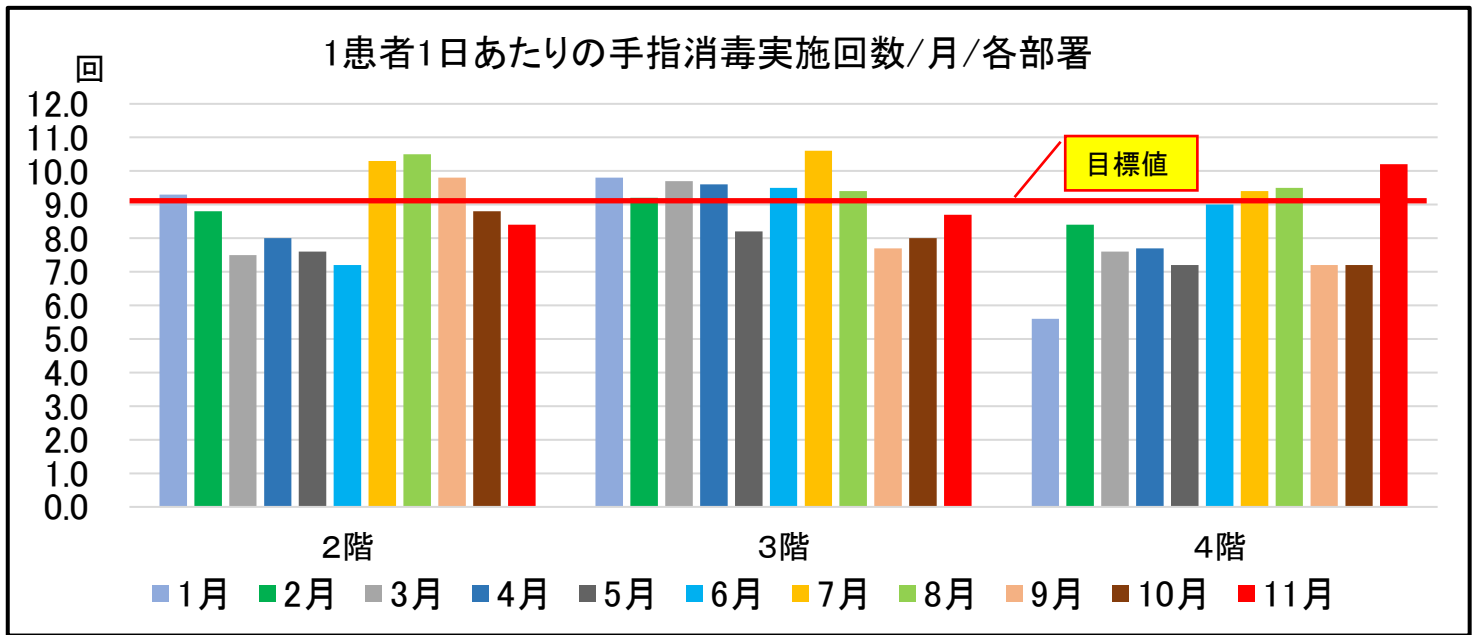
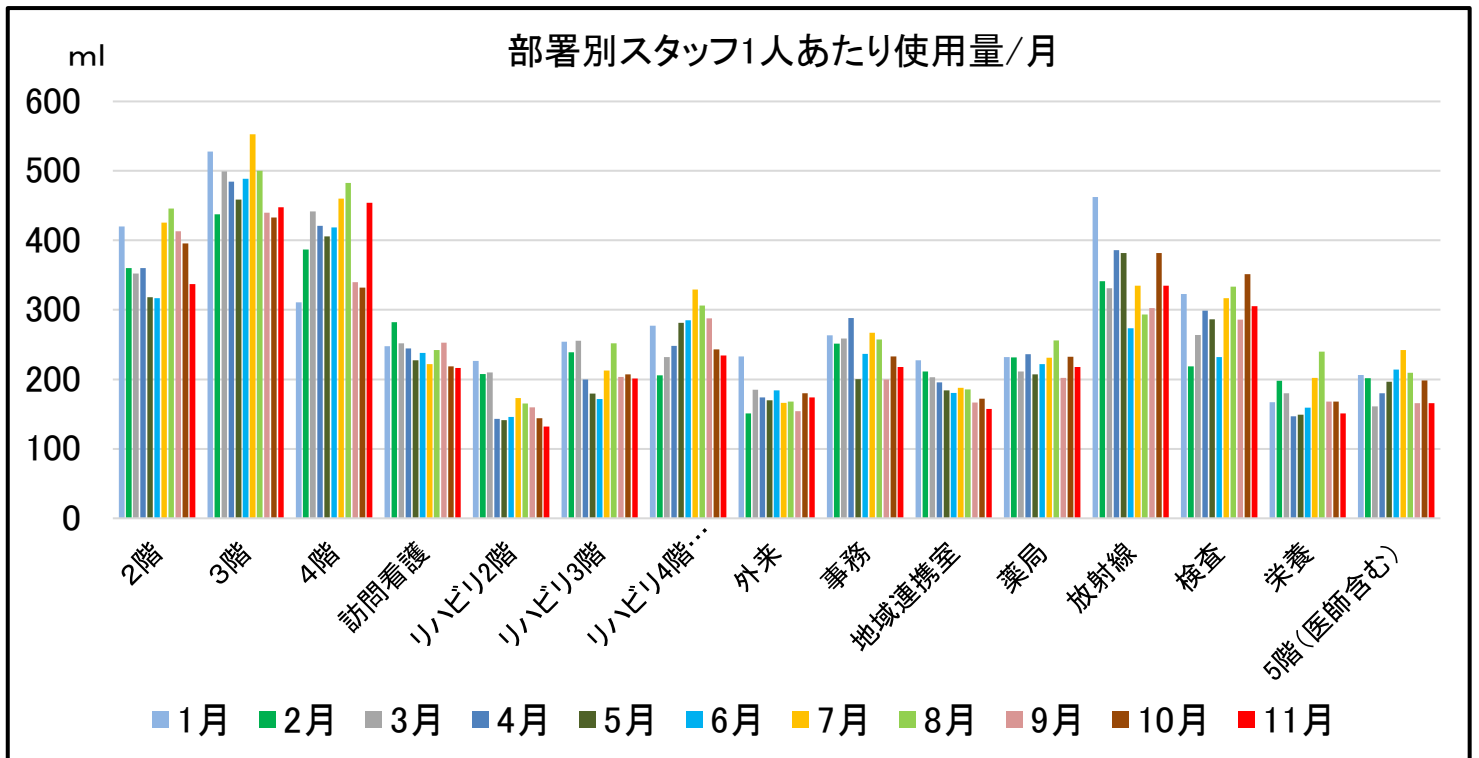


胎児水腫

赤ちゃんの全身がむくんでいる状態



★2024 年アルコール手指消毒剤使用量報告



※3・4 階病棟での使用量増加以外は減少傾向にあります。冬季感染症に向けてタイミングよく実施していきましょう！